

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	日本の宝・国立公園の魅力向上による元気な地域づくり事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	総務課自然ふれあい推進室 国立公園課 自然環境整備担当参事官室		室長 堀上 勝 課長 桂川 裕樹 参事官 坂本 文雄		
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令(具体的な条項も記載)	自然公園法第10条第1項		関係する計画、通知等	日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立公園等の自然観光資源を活かすことにより日本観光の高付加価値化に資することや、多様な主体との協働による、地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供し、地域の活性化に寄与することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	事業の目的を達成するに当たり、多言語による統一的情報発信を進める等により国立公園が提供するサービスの質の向上、国立公園を核とした魅力的な地域づくりを地域との協働等により進めるための体制構築、ジオパーク等の取組と連携した魅力ある公園利用の実現、エコツーリズムやジオツーリズムを活用した魅力ある地域づくりを進めるための地域への支援、国立公園の魅力向上のための統一な施設整備を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	—	—	—	—	2,000	
	執行額	—	—	—	—	—	—	
	執行率(%)	—	—	—	—	—	—	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	本事業は、国立公園等の自然観光資源を活かした日本観光の高付加価値化と、地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供することを目的としており、定量的な目標は設定出来ない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	魅力向上モデル地域数		活動実績(当初見込み)	地域	—	—	—	—
	国立公園協働型管理運営体制強化事業の実施地域数			地域	(-)	(-)	(-)	(-)
	ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業の実施地域数			地域	—	—	—	—
	「自然の魅力伝え人」育成			人数	(-)	(-)	(-)	(-)
	魅力づくりアドバイザー派遣			回数	(-)	(-)	(-)	(-)
	地域の魅力向上支援			地域	(-)	(-)	(-)	(-)
	自然環境資源の持続的活用推進(山岳環境の保全のためのトイレ整備箇所数)			箇所	(-)	(-)	(-)	(-)
	国立公園魅力向上施設重点整備事業(公共)			地域	(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト		—		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	—	4	日本再生戦略に関する「重点要求」(観光立国戦略) 2,000				
	環境保全調査費	—	486					
	環境保全施設整備費補助金	—	100					
	生物多様性保全推進交付金	—	210					
	自然公園等事業費(公共)	—	1200					
計	—	2,000						

事業所管部局による点検

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)の11戦略分野のうち「観光立国戦略」においては重要施策として観光需要の喚起が位置づけられており、本事業は、国内外の利用者ニーズに応える国際競争力のある魅力的な観光地域づくりに寄与するものであることから、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により支出先を選定することを原則としつつ、少額のものにあつては複数者から見積を取得し、最も安価な者を支出先として決定する等、競争性を確保した上で、適切な支出先を選定する。 また、補助金、交付金にあつては、補助・交付額の上限を定め、受益者との負担関係を明確にする。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は、環境省の所管である国立公園の保護及び利用の推進を図るためのものであることから、他省庁との重複はない。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)においては、交流人口の増加による観光需要を喚起することで、地方経済の活性化、雇用機会創出に取り組むことが重要であり、また、訪日外国人を取り込むなど観光振興に取り組むことも重要であるとされている。本事業は国立公園の自然観光資源を活かすことにより日本観光の高付加価値化に資することや、多様な主体との協働による地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供し、地域の活性化に寄与するものである。	
予算監視・効率化チームの所見			
		観光立国日本を推進するためには、国立公園の資源を広く国内外に発信することは大変重要であるが、事業の実施に当たっては記載されている活動指標ごとに目標などを明確にし、実施するよう努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—